

# 16世紀、豊後から震源域拡大

## 中央構造線 延長線に沿って 今回と状況類似

震源域が、当初の日本列島の東部から北東の阿蘇山地方や大分県、さらには熊本地方の南西側へと中央構造線(MTL)断層帯の延長線上に拡大している。熊本地方の南西側へと中央構造線(MTL)断層帯の延長線上に拡大している。熊本地方の南西側へと中央構造線(MTL)断層帯の延長線上に拡大している。

# 大地震連鎖 警戒を



今城塚古墳で見つかった、慶長伏見地震で滑り落ちた巨大な石組み=2007年3月、大阪府高槻市

16世紀の大地震は、豊後(大分県)で始まった。豊後(大分県)で始まった。豊後(大分県)で始まった。豊後(大分県)で始まった。豊後(大分県)で始まった。

5日間で近畿まで MTLは、西日本を東西に横断する日本最大級の断層帯。地震考古学者の寒川旭さんは約400年前は、5日間で別府湾から近畿までMTL沿いの約4000メートルにわたって、大地震が起きたと推定している。

## 断層、カルデラに延伸

### 調査委 従来より数キロ長く



記者会見する地震調査委員会の平田直委員長=17日午後、文科省

政府の地震調査委員会は17日の臨時会で、熊本県で16日未明に起きたマグニチュード(M)7.3の地震は、布田川断層帯の布田川断層帯の延長線上に拡大していることを明らかにした。

- 地震調査委員会の評価のポイント
16日に熊本県で発生したマグニチュード(M)7.3の地震は布田川断層帯の布田川断層帯が活動した。
布田川断層帯は従来の評価より長いことが判明、東端は阿蘇山カルデラの中に達していた。
断層帯の南側にある観測点が南西方向に97度移動する地殻変動を確認。
地下の断層が長さ27%、幅12%にわたって3.5倍に拡大したと推定された。

とみられることも新たに分かった。調査委員会は、熊本県で16日未明に起きたマグニチュード(M)7.3の地震は、布田川断層帯の布田川断層帯の延長線上に拡大していることを明らかにした。

## 布田川・日奈久 断層分割して再評価

### 危険性認識に影響か

熊本県などで相次ぐ地震について、政府の地震調査委員会は16日に起きたマグニチュード(M)7.3の「本震」と、14日の地震7の地震は「隣接する別の断層帯がそれぞれの震源」との見解をまとめた。ただ、これらの断層帯はかつて一体の活断層と考えられていた。これを分割して危険性を評価し直した経緯がある。一つの活断層のままなら、地震が連続する危険性をより強く意識できた可能性も捨てきれない。

## 原発

### 川内、伊方などの安全性影響確認へ

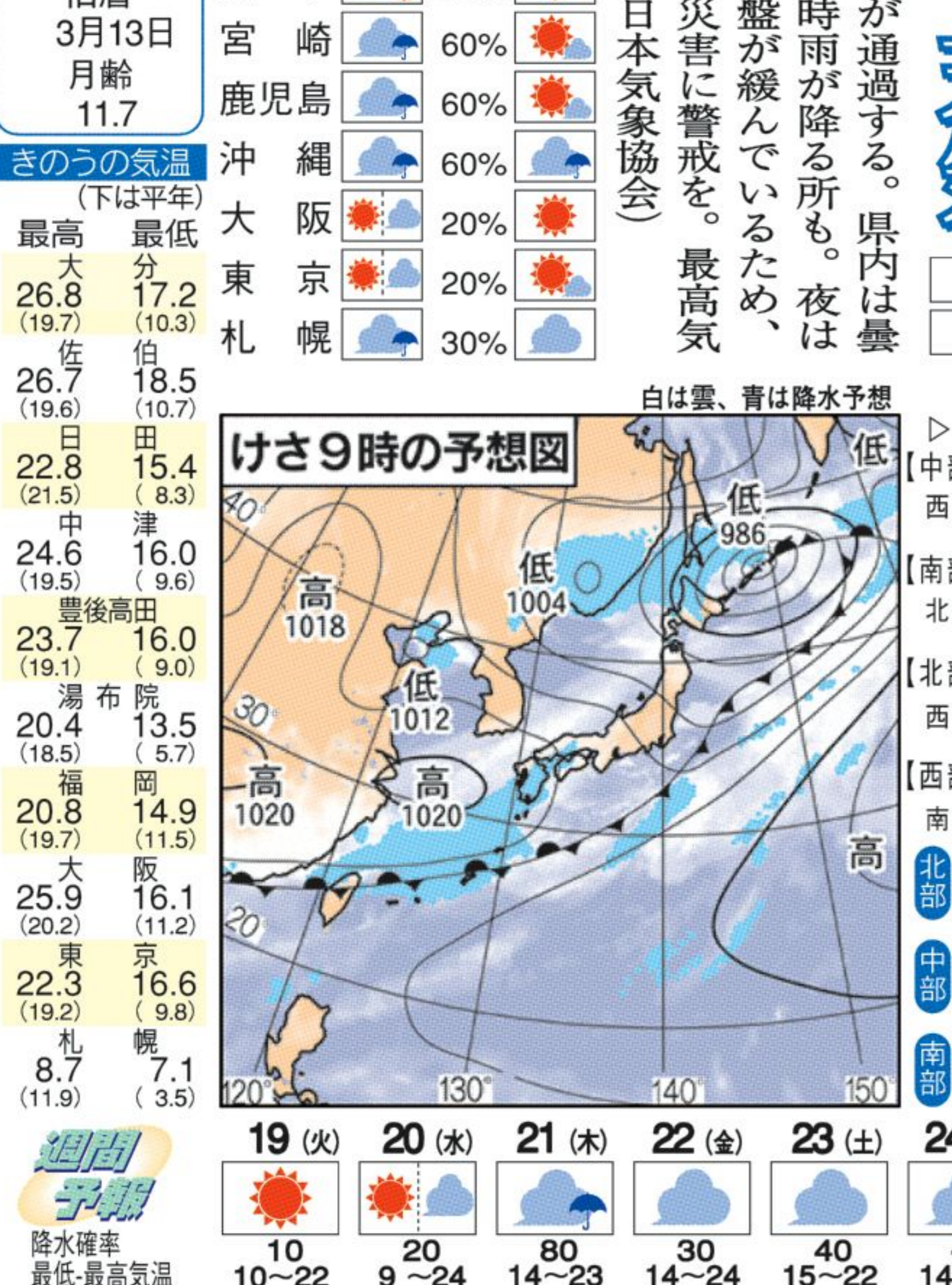
規制委きょう臨時会合 熊本、大分両県を襲った地震を受け原子力規制委員会は17日、臨時会合を18日に開き、稼働中の九州電力川内原発(鹿児島県薩摩川内市)など九州、中四国地方の原発の安全性に影響があるかどうかを確認することを決めた。



## きょうの天気

大分	熊本	佐賀	長崎	福岡	宮崎	鹿児島
晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
最高	最高	最高	最高	最高	最高	最高
最低	最低	最低	最低	最低	最低	最低

## けさ9時の予想図



## 震度1以上478回

熊本県を中心に相次いで地震で最も多い回数になった。熊本県を中心に相次いで地震で最も多い回数になった。熊本県を中心に相次いで地震で最も多い回数になった。

## ひと

情報を活用できる人材に 生には地域農業のけん引役も求められる。将来の「幹部候補」を育成する機関としての周囲の期待を感じる。今年、県産産振興課長から着任した。県立農業大学校(豊後大野市)は新入生44人を迎え、本年度の在校生は96人。「農業技術や社会性を身に付けてもらい、企業や農家に必要とされる即戦力の人材を育てたい」と意気込み。

即戦力になる農業人の育成に力を入れる 大分県立農業大学校校長 重盛 進さん(58)